

グループ名	気づきを高める生活科の会										
研究テーマ	生活科における具体的な体験活動と振り返りの相互作用の効果について										
分 野	<p>授業力向上</p> <p>(対象校種) 小学校</p> <p>(対象教科) 生活科</p>										
研究のねらい	各クラスで、子供の実態に応じた年間カリキュラムを作成するとともに、子供一人一人の思いや願いを生かした体験活動を通して、深い学びにつながる表現方法の在り方を探る。										
研究・活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業を意識した年間指導計画を作成した。 ○指導案検討・授業実践を通して、生活科における体験活動が表現活動に相互に作用しているのかを検証する。 ○具体的な体験活動と表現活動を繰り返すことによって子供の気付きの質や思いが高まり、それが次の活動につながっているのかを検証した。 										
成果と課題	<p>【成果】 子供たちの姿や振り返りカード等を掲示物にまとめたものを検証してみると、体験活動が「振り返りやカード」「話合いや発表」などの表現活動に相互に作用していることが分かった。また、体験活動と表現活動を相互に繰り返すことによって、子供の気付きや思いの質が高まったことも分かった。それにより、生活科における具体的な体験活動と表現活動を繰り返すことで、相互作用の効果が十分に得られるということが確認された。</p> <p>【課題】 1年生の幼保小交流では5回の交流でしたが、日程を中心とした打ち合わせになってしまい、小学校主導で交流が進むことが多くなってしまった。活動ありきの交流ではなく、お互いの学習のねらいをしっかりと把握し、それぞれのねらいを達成させるための交流になるよう幼稚園・保育園側と打ち合わせをしていく必要性を感じた。</p>										
構成員(3)名	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>氏 名</th> <th>所属・職名</th> <th>氏 名</th> <th>所属・職名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(代表) 安垣 殊美</td> <td>広瀬小学校・教諭</td> <td>嶺岸 茉寸美 高橋 郁子</td> <td>広瀬小学校・教諭 広瀬小学校・教諭</td> </tr> </tbody> </table>			氏 名	所属・職名	氏 名	所属・職名	(代表) 安垣 殊美	広瀬小学校・教諭	嶺岸 茉寸美 高橋 郁子	広瀬小学校・教諭 広瀬小学校・教諭
氏 名	所属・職名	氏 名	所属・職名								
(代表) 安垣 殊美	広瀬小学校・教諭	嶺岸 茉寸美 高橋 郁子	広瀬小学校・教諭 広瀬小学校・教諭								